



おやっとさあ

編集・発行
垂水市立介護老人保健施設
コスモス苑
TEL 0994-32-5200
FAX 0994-32-5280
E-mail: kosumosuen@po.city.
tarumizu.kagoshima.jp
VOL.28



これからのコスモス苑

事務次長 近川 浩昭

コスモス苑の正式名称は「垂水市立介護老人保健施設コスモス苑」と言います。垂水市が開設し、公益社団法人肝属郡医師会が指定管理者として、管理運営する施設となります。土地・建物は垂水市が用意して、施設の中で働くのは医師会職員となります。施設長（医師）（准）看護師、介護（福祉）士、理学・作業療法士、（管理）栄養士、歯科衛生士、介護支援専門員、社会福祉士、薬剤師、一般事務職と、私たち医師会職員はコスモス苑を少しでも良くしていくこうと、日々頑張っています。また、厨房業務、設備・清掃管理業務、送迎業務等は委託となりますが、委託業者の方々にもコスモス苑の一員として頑張ってもらっています。

そのコスモス苑は介護保険法に基づき運営されています。病院と同様、公的保険制度の下、介護報酬と呼ばれる全国統一の料金体系で運営されます。スーパーや家電量販店は店々で販売価格を決められますが、全ての介護業者はこの介護報酬に従って利用料金をいただいています。このことは国の政策に沿って事業を展開せざるを得ないことも意味します。この四月から通所リハビリテーションで介護予防の利用者様へご迷惑をお掛けしましたが、少子高齢化が進むなかでの限られた資源（財源・労働力）を有効活用するためのものでした。

八月からコスモス苑は在宅強化型

老健となりました。今までもそうではあったのですが、今まで以上に入所利用者様を在宅へ戻す努力をする施設となります。そのためにはケアプラン作成・実行・評価・見直しの徹底、リハビリテーションの充実等、より質の高いサービスを提供していかなければなりません。また一方では、利用者様がその人らしく最期を迎えられるように看取りも行っていきます。在宅へ戻すのも、施設内での看取りも、国が介護老人保健施設に求める機能となります。

今、二〇二五年問題で、行政・医療・介護で競って地域包括ケアシステムについて議論していますが、垂水市の場合、何が問題かというと労働力です。前述したとおり施設は多くの職種の職員で構成されますが、半数以上は市外からの通勤組です。現在垂水市へ税金を納めている職員でさえ、元々は垂水市の住民であつたわけではありません。就業するために垂水市へ移り住んで来たのです。私どもは若者が希望を持って働き続けられるよう職場環境を整えることで職員を確保して参りました。しかしながら今後は、若者が年々少なくなる中、都会での急激な高齢者の増加に伴う介護の人材不足により、地方の若者の都会への流失が今までの上となり、地方には残らないと考えています。地方は都会の草刈り場になつてしまうのです。一人でも多くの若者が、自分達のおじいちゃんやおばあちゃんを面倒をみる、と地元に残つてもらえれば、と切に願うところです。

4月～6月 春行事



春行事リーダーからの一言

春という気候の良い時期の行事担当だったので利用者様には是非、外の気持ちいい空気を
感じ温かい日差しを浴びてリフレッシュして頂ければと思い企画しました。4, 5 月にか
けて 4 回に分け入所、通所の皆様が出来ただけ全員参加して頂けるように配慮しました。
毎回参加スタッフのにぎやかなおはら節とハンヤ節に加え、今回久しぶりにコスモス苑太
鼓部による太鼓も披露され参加された利用者様に喜んで頂けたと思います。あいにく雨に
なった日もありましたが、外で行うことも出来て良かったと思います。またこの場をお借
りして協力して頂いたスタッフの皆様、外の草刈りを手伝って頂いた事務所、居宅の皆様
本当にありがとうございました。

行事担当リーダー 大迫 韻



7月～9月 夏行事



夏行事リーダーからの一言

今回の行事は、夏を感じながら皆で楽しめるものという事で「スイカ割り」をテーマに企画しました。各フロアーにスイカを1つずつと紙風船を貼り付けたビーチボールをスイカに見立て、参加者全員で、紙風船を叩き割ってもらいました。貼られた紙風船は割れるよりも床に落ちる物が多く、紙風船を叩き割る方や職員が手に持った紙風船を棒で叩き割る方、楽しみ方もそれぞれでした。パンという軽快な音とともに笑い声を含む歓声が響き、参加者でスイカならぬ、紙風船割りを楽しむことができました。その後、当月の誕生者をフロアー代表を選出し、メインイベントのスイカ割りに挑戦して頂きました。フロアーによっては、挑戦者に目隠しをして周囲の方々に誘導してもらうかたちで行ったところもあるなど、挑戦者のみでなく周囲の方々も盛り上がるなか行うことができました。どのフロアーもドラマのようにスイカがきれいに二つに割れて、割れた断面の美しさとともに、夏の香りともいえるスイカの香りがフロアーに広がりました。その日のオヤツにスイカを提供し、五感で夏を楽しんで頂けたと思います。

行事担当リーダー 野間口 和樹





祭
第19回
コスモス苑
夏祭り
祭



夏祭り担当よりひと言

平成 27 年度第 19 回夏祭りリーダー小田亜里沙です。今年度も前年度同様、利用者様をより身近に楽しんで頂けるように小規模で開催致しました。また、時間帯も今までの午後から通所、夕方入所の形から、午後から入所、通所の全利用者様で開催する形に変えることでホールにたくさんの利用者様が集まる賑やかな夏祭りとなりました。各フロアの催し物、福本施設長の歌、神園看護部長の踊り、赤坂看護副部長の歌、夏祭り担当職員によるロックソーラン節等々利用者様には喜んで頂けたと思います。最後には恒例となりました、全職員によります賑やかな総踊り、利用者様も笑顔で手を叩き手踊りをするなど会場一体となって盛り上がったと思います。今後も利用者様に喜んで頂けるように頑張っていきたいと思います。

さざなみ保育園さんより



7月3日に、さざなみ保育園の園児たち手作りの七夕飾りを頂きました。

毎年、きれいな飾り付けや園児たちを見れることを利用者様は楽しみにされています。

園児たちのパワーに負けないよう、利用者様・職員一丸となって頑張っていきたいと思います。さざなみ保育園の皆様、本当にありがとうございました。

コスモス苑 外庭 大掃除



いつも楽しく働かせてもらっているコスモス苑へ、感謝と恩返しの気持ちで職員によるボランティア清掃を企画しました。今回は介護・看護部も初めて参加しました。急な呼びかけにも関わらず、沢山の職員のご協力をいただき、無事に清掃を実施することができました。

これからも利用者様が気持ちよく生活できる綺麗なコスモス苑であるよう、今後も定期的に実施していければと考えています。

柳田 誠

新入職員紹介



貞 勲

8月1日付で垂水中央病院 2 階病棟より異動となりました。

奄美の徳之島出身で、こちらにお世話になる前は徳之島徳洲会病院に勤務していました。妻が一人、女の子が3人で普通に暮らしています。早く仕事に慣れるよう頑張りますので今後ともご指導よろしくお願いします。



今村 江理香

コスモス苑に入社してから4ヶ月が経ちましたが、まだまだわからない事ばかりなので、至らない点多々ありますが笑顔は忘れずに頑張りますのでよろしくお願いします。



隈元 摂子

コスモス苑に入社して約1ヵ月が経過しました。初めての老人保健施設で、温かい利用者様、ご家族様、そして先輩方に恵まれ日々勉強させていただいています。

明るく家庭的な施設を目指して頑張ります。よろしくお願いします。



前田 恵美

老健施設での勤務は初めてなのでわからないことや戸惑うことがたくさんありますが、デイケアの利用者様の元気な挨拶や、入所様とスタッフの微笑ましい会話に癒されながら楽しくお仕事させて頂いております。どうぞよろしくお願い致します。



丸山 貴幸

苑の利用者様も春夏を通じて、踊りや太鼓、スイカ割り、夏祭りを楽しんで頂けたかと思っています。私共も利用者様に喜んで頂ける様な催し物をしてきました。今後も季節感のある行事をおこない、利用者様が苑で楽しく過ごして頂ける様に頑張っていきたいと思います。次回は「秋」「冬」をテーマに、来年3月発行を予定しております。

「おやっとなさあ」は今年度より、年2回（9月・3月）の発行となります。
今回は9月までに苑で行いました誕生会・行事を紹介しております。

編集後記

